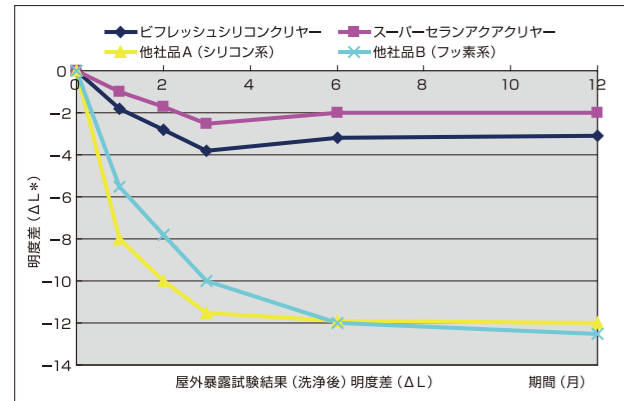
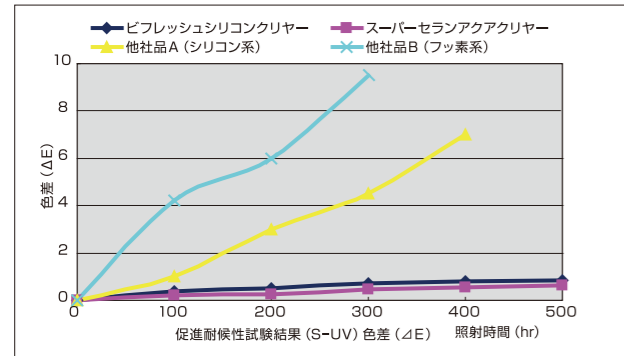


ダイヤモンド水系CRPシステム



【包装単位】

- コンフィックスSM-7W 15kg缶
- ダイヤモンドフレッシュシリコンカラークリアー 15kg缶
- ダイヤモンドスーパーセランアクアクリアー艶消し 16kg (15/1) セット
- ダイヤモンドフレッシュシリコン艶消しクリアー 15kg缶

【施工・管理上の注意】

- ①材料の保管は、凍結や温度上昇による変質を避けるため、冬期は屋内で、その他の季節では直射日光を受けないようにして下さい。
- ②コンフィックスSM-7Wの保証期間は、製造より3ヶ月ですので保証期間内にご使用下さい。又、使用后、残った材料は、アルカリなどの混入などにより反応してしまいますので缶へともさぬようにご願ひします。
- ③セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
- ④材料が付着乾燥しますと取れませんが、塗布面周辺の養生を完全に行い、施工時建物の周辺に飛散しないようにして下さい。養生テープは塗膜厚を考慮して、強度の高いものを使用して下さい。また、吹き付け後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと斑が残ります。
- ⑤コンプレッサーは必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
- ⑥下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- ⑦施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げて下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。
- ⑧気温5℃以下、湿度85%以上または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。なお、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時頃までに作業を打ち切るようにして下さい。
- ⑨施工後24時間以内に降雨、結露等水の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- ⑩本施工に入る前に試験塗りをを行い、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりがムラにならないよう確認して下さい。
- ⑪ダイヤモンドスーパーセランアクア艶消しクリアーは、泡が発生しないように電動攪拌機等により充分攪拌し、均一な材料にして下さい。(攪拌初期は硬化剤が水となじみにくいため、手で軽く攪拌しただけでは混合不良となる場合があります)
- ⑫希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎるときれいに仕上ることがあります。特に濃色や下地の吸い込みがない場合等は少なめに希釈して下さい。
- ⑬下地の吸込ムラにより色彩のムラが発生する場合があります。

【成績表】

ダイヤモンド水系CRPシステム (ビフレッシュシリコン艶消しクリアー)

試験項目	試験結果	試験方法
耐水性	異常なし	JIS K 5660 : 2003 6.11
耐アルカリ性	異常なし	JIS K 5660 : 2003 6.12
温冷繰り返し	異常なし	JIS A 6909 : 2003 7.10
透水性	0ml	JIS A 6909 : 2003 7.12
濡れ色防止性	異常なし	モルタル又はスレート板に塗布し、目視にて確認
鉛筆ひっかき硬度	HB	JIS K 5600 : 1999 5-4
付着性	25/25	JIS K 5600 : 1999 5-6 (クロスカット法)
	25/25	
	25/25	
塩害性	検出されず	10mm厚の1:2モルタルの下地に対して標準仕様に基づき水系CRPシステム(ビフレッシュシリコン艶消しクリアー)を施し、7日間標準養生したものを試験体とする。試験方法は道路協会「コンクリート塗装材の品質規格」塩害性試験方法による
促進中性化試験	0	温度30℃、湿度60%RH、5%CO ₂ 、6ヶ月
促進耐候性	外観異常なし 変退色：良好	JIS A 6909 : 2003 7.19 (4000時間照射) ※

ダイヤモンド水系CRPシステム (スーパーセランアクアクリアー艶消し)

試験項目	試験結果	試験方法
耐水性	異常なし	JIS K 5660 : 2003 6.11
耐アルカリ性	異常なし	JIS K 5660 : 2003 6.12
耐酸性	異常なし	JIS K 5660 : 2003.6.13
温冷繰り返し	異常なし	JIS A 6909 : 2003 7.10
透水性	0.1ml	JIS A 6909 : 2003 7.12
濡れ色防止性	異常なし	モルタル又はスレート板に塗布し、目視にて確認
裏面水濡れ色防止性	異常なし	スレート板に塗布し、裏面より水を吸収させ濡れ色の発生を目視にて確認
鉛筆ひっかき硬度	HB	JIS K 5600 : 1999 5-4
付着性	25/25	JIS K 5600 : 1999 5-6 (クロスカット法)
	25/25	
	25/25	
促進耐候性	外観異常なし 変退色：良好	スーパーUV (800時間照射)

※スーパーUV (400時間照射) に相当します。

【適応下地】

- 打ち放しコンクリート面 / 化粧コンクリート面 / PC板面 等

- ④常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- ⑤工程間隔時間は充分取って下さい。
- ⑥安全衛生上の注意事項については、容器の表示を合わせてご参照下さい。
- ⑦材料の保管は気温5～35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
- ⑧シーリング材の上に施工することは避けて下さい。汚染、ひび割れ、剥離などの不具合が発生するおそれがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を充分確認のうえ施工して下さい。
- ⑨施工環境が気温5℃以下の場合、湿度85%RH以上の場合、降雨中および結露が発生する可能性がある場合には施工を避けて下さい。仕上り不良、剥離などの不具合の原因となり、また本来の塗膜性能を発揮出来ないおそれがあります。
- ⑩塗装下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。
- ⑪施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点について仕様書等をご確認下さい。

【安全衛生上の注意】

- ①取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- ②取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行なって下さい。
- ③子供の手の届かない所に保管して下さい。
- ④作業中・作業後は充分換気を行って下さい。
- ⑤廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
- ⑥目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ⑦誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ⑧中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- ⑨皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは医師の診断を受けて下さい。
- ⑩臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ⑪施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認下さい。



株式会社 ダイフレックス

DYFLEX

取扱店

〒163-0825 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル

☎ (03) 5322-7020 FAX. (03) 5322-7021

URL <http://www.dia-dyflex.jp>

※ 全国の最寄りの支店・営業所をご案内致します。お気軽にお問い合わせ下さい。

DIAMOND 水系CRPシステム

コンクリートの風合いを生かしながら、
長寿命化を図る水系保護工法です。



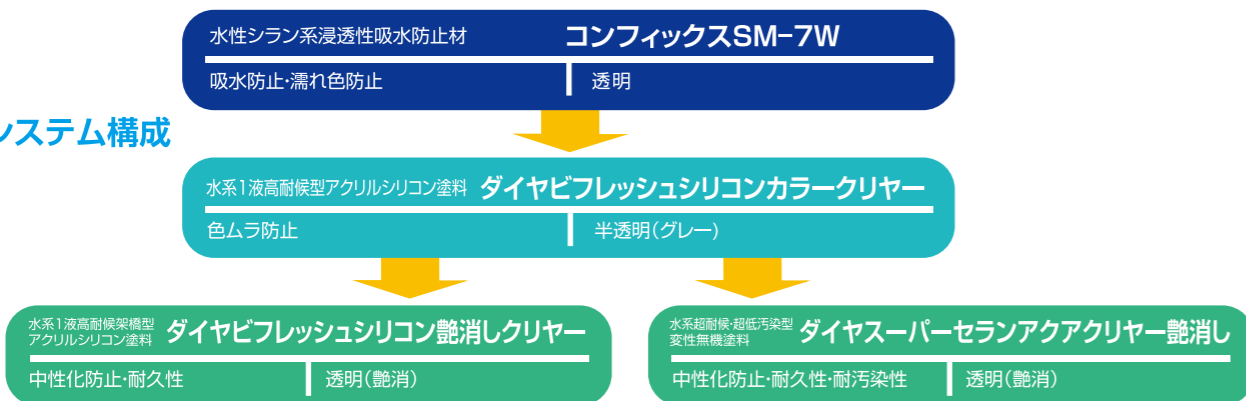
ダイヤ水系CRPシステム

コンクリートの風合いを生かしながら、 長寿命化を図る水系保護工法

特長

- 1 環境に優しい、完全水系のコンクリート表面保護工法です。
- 2 打ち放しコンクリートの中酸化防止、汚染の防止など表面からコンクリートを保護します。
- 3 遮塩性があり、塩分の進入を防ぎ、内部の鉄筋を腐食から守ります。
- 4 クリアーの仕上げで打ち放しの風合いを生かした仕上がりになります。

システム構成



■ 下地調整

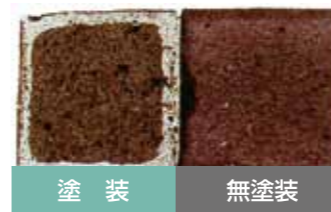
- ① 打放しコンクリート面は、できる限り均質・均一な面であることが望ましく、巣穴、ジャンカがないことが理想ですが、補修する場合は躯体と同色で吸込みが同程度のセメントペースト、モルタルで補修して下さい。
- ② 目印にはコンクリートの表面を汚す墨だし、傷をつけるケガキは避け、コンクリート面に跡が残らないものを使用して下さい。
- ③ コンクリート表面に付着した汚れ、泥土、コンパネの灰汁などは、#180~240のサンドペーパーで除去し、水洗い清掃(高圧水洗浄)して下さい。
- ④ はり、突出し部分、木繊維などの除去には、周りを傷つけやすいディスクサンダーを使用せず、タガネでは取り取って下さい。
- ⑤ 離型剤、油脂等が付着している場合、シンナーで拭き取って下さい。

■ 施工工程

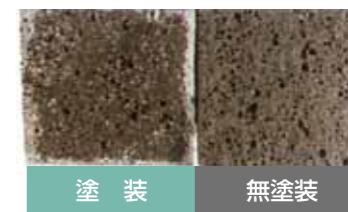
- ① 塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。
- ② **コンフィックスSM-7Wの施工**
コンフィックスSM-7Wは、希釈しないで中毛のウールローラ、エアレス、スプレーガンにて2回塗りして下さい。塗布間隔は工程内で2時間以上、6時間以内、工程間で6時間以上です。
- ③ **ダイヤビフレッシュシリコンカラークリアーの施工**
ダイヤビフレッシュシリコンカラークリアー15kgを0~0.7%の清水で希釈して泡が発生しないように充分攪拌し、均一な材料にして下さい。施工はエアレスユニット(パターン幅20~25または25~30cm、吐出量約400cc/minのエアレスチップを選択して下さい)または、スプレーガンを用いて、ムラのないように均一に塗布して下さい。塗布間隔は2時間以上です。
- ④ **上塗り**
 - 【変性無機塗料タイプ】 **ダイヤスーパーセラミッククリアー艶消しの施工**
ダイヤスーパーセラミッククリアー艶消しA液15kgにB液1kgを加えた後0~1.6%の清水で希釈し、泡の発生しないように充分攪拌し、均一な材料にして下さい。施工はエアレスユニット(パターン幅20~25または25~30cm、吐出量約400cc/minのエアレスチップを選択して下さい)または、スプレーガンを用い、むらの無いように均一に塗布して下さい。
 - 【シリコン塗料タイプ】 **ダイヤビフレッシュシリコン艶消しクリアーの施工**
ダイヤビフレッシュシリコン艶消しクリアー15kgを0~0.7%の清水で希釈し、泡の発生しないように充分攪拌し、均一な材料にして下さい。施工はエアレスユニット(パターン幅20~25または25~30cm、吐出量約400cc/minのエアレスチップを選択して下さい)または、スプレーガンを用い、むらの無いように均一に塗布して下さい。塗布間隔は2時間以上です。

塗装後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。

【浸漬試験後の状態】



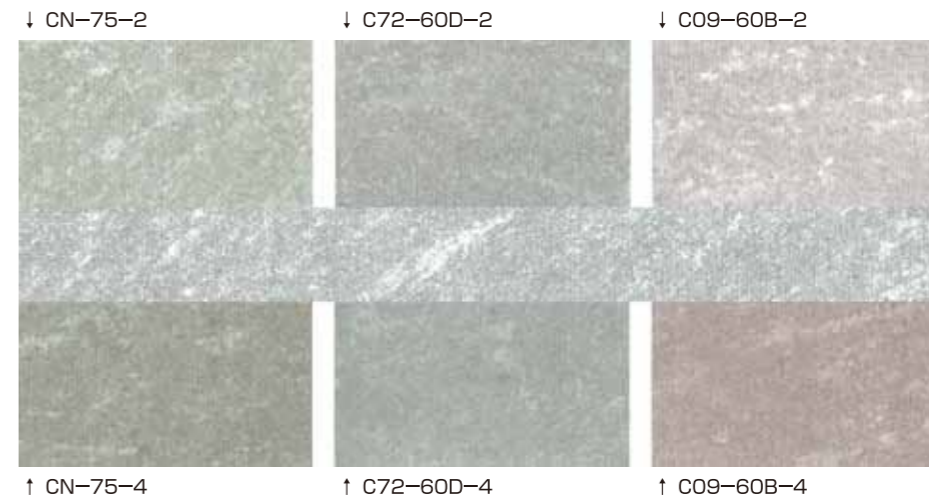
●9週間飽和食塩水に浸漬し、断面に硝酸銀溶液を塗布。無塗装は塩分が侵入したため、硝酸銀の色と反応後の塩化銀の色が混じったため淡褐色となる。CRPシステムにて塗装したものは塩分が侵入していないので黒くなる。



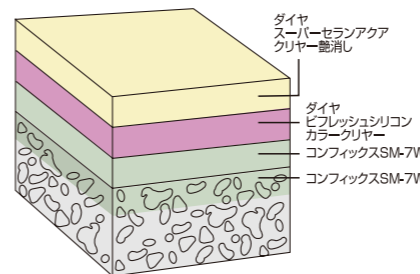
●9週間水に浸漬。CRPシステムを施した供試体には吸水抑制層が形成されている。

【ダイヤビフレッシュシリコンカラークリアー標準色】

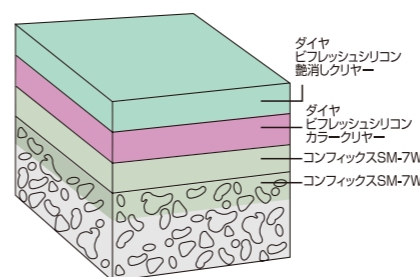
※写真のため実際の仕上がり色とは多少異なる場合があります。あらかじめご了承下さい。



変性無機塗料タイプ (ポリシロキサン系)



シリコン塗料タイプ



工程	材料	希釈割合	所要量	塗回数	乾燥時間 ^{※1}	
					工程内	工程間
1	下地調整	補修は躯体と同色で吸込みが同程度のセメントペースト・モルタルで行って下さい。				
2	下塗り	コンフィックスSM-7W	15kg 無希釈	0.2~0.3kg/m ²	2時間以上 6時間以内	6時間以上 48時間以内
3	中塗り	ダイヤビフレッシュシリコンカラークリアー 清水	15kg 0~0.7% ^{※2}	0.1~0.2kg/m ²	—	2時間以上
4	上塗り	ダイヤスーパーセラミッククリアー ^{※2} A液 B液 清水	15kg 1kg 0~1.6% ^{※2}	0.1~0.15kg/m ²	—	—

※1 乾燥時間は、標準状態(23℃、50%RH)での時間を示します。

※2 上塗材として艶有り仕上も可能です。(ダイヤスーパーセラミッククリアー艶有り)

工程	材料	希釈割合	所要量	塗回数	乾燥時間 ^{※1}	
					工程内	工程間
1	下地調整	補修は躯体と同色で吸込みが同程度のセメントペースト・モルタルで行って下さい。				
2	下塗り	コンフィックスSM-7W	15kg 無希釈	0.2~0.3kg/m ²	2時間以上 6時間以内	6時間以上 48時間以内
3	中塗り	ダイヤビフレッシュシリコンカラークリアー 清水	15kg 0~0.7% ^{※2}	0.1~0.2kg/m ²	—	2時間以上
4	上塗り	ダイヤビフレッシュシリコン ^{※2} 艶消しクリアー 清水	15kg 0~0.7% ^{※2}	0.1~0.2kg/m ²	—	—

※1 乾燥時間は、標準状態(23℃、50%RH)での時間を示します。

※2 上塗材として艶有り仕上も可能です。(ダイヤビフレッシュシリコン艶有りクリアー)